

POWER!

2026年
1月
vol. 95

令和8年(2026年)
1月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-3
四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100
FAX (03) 3225-3200

発行月 ● 4月、7月、10月、1月

<https://www.yakuren.jp>

新年のご挨拶

日本薬剤師連盟会長 岩月 進



新年あけましておめでとうございます。日本薬剤師連盟会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年5月に「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律」が成立・公布され、濫用等のおそれのある医薬品の販売方法の厳格化をはじめとする医薬品販売制度に関わる種々の改正が行われました。その中でも、重要な法改正事項のひとつは、薬局開設者の責務として、自薬局にとどまらず、行政と連携して「地域」における医薬品の安定供給を図ることが明確に課せられた点であります。急速な少子化や過疎化が進む人口減少社会において、地域の医療資源たる薬局・薬剤師の役割は増すばかりであり、今がまさに正念場です。

また、7月の参議院議員選挙において、本田あきこ議員が二期目の当選を果たすことができました。政権与党に厳しい逆風の吹く選挙戦ではありましたが、関連する業界の方々も交えた多くのご支援をいただき、何とか当選が果たせたことは全国各地の方々のご協力の賜物であり、改めて感謝を申

上げます。

本年は、3年後に向けて、組織内統一候補である神谷まさゆき参議院議員に対する本格的な支援活動をスタートする年になります。引き続き、ご支援をお願いいたします。さらに、令和8年度は、診療報酬改定が予定されています。現下の賃上げ・物価高騰の影響に加え、いわゆる「逆ザヤ」品目の急増、毎年の薬価改定による備蓄医薬品の資産価値の減少等により、薬局の経営状況は極めて逼迫しています。本連盟は改定財源の確保と同時に、医科・歯科・調剤の公平な配分を維持するよう、引き続き関係各方面へ強く働きかけを行ってまいります。

2026年は令和8年、干支は「丙午(ひのえうま)」の年になります。丙午は、60年に一度巡ってくる特別な干支です。「丙」と「午」という2つの「火」が重なり合う本年は、情熱や行動力が高まり、勢いのある一年と解釈されているそうです。大地を蹴って走り出す馬のように、自分の目標や夢が一気に動き出す、そんな年になることを期待しています。結びに、日本薬剤師連盟会員の皆様のご活躍とご発展を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

日本薬剤師連盟 幹事長 川田 哲



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えになられたことお慶び申し上げます。

昨年7月の第27回参議院議員通常選挙では、自民党への大逆風の中であつてない厳しい選挙戦となったものの、日本薬剤師連盟が組織内候補として再度擁立した本田あきこ参議院議員が見事2回目の当選を果たすことができました。ご支援いただきました皆様は改めて厚く御礼申し上げます。

超高齢社会において、医薬品の安定供給、在宅医療や地域住民の健康サポート、そして地域包括ケアの中核として、地域医療を支える薬剤師の役割はますます重要性を増しています。献身的に取り組まれている会員の皆様の日々のご努力と使命

感が、国民の安心と健康を守る大きな力となっていることは言うまでもありません。このような中で、本年は「診療報酬」「調剤報酬」の改定を含め薬剤師を取り巻く制度改革が大きく動く節目の年です。本連盟としましては、本田あきこ参議院議員、神谷まさゆき参議院議員はじめ関係する国会議員を通じて現場の声を国政に届け、確実に政策につながることに、薬剤師が誇りをもって専門性を発揮できる環境整備を一層推進していく所存であります。

本年が皆様方にとって実り多い年となりますようお祈り申し上げますとともに、連盟活動への引き続きのご協力とご支援をお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

日本病院薬剤師連盟会長 武田 泰生



謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は日本病院薬剤師会ならびに日本病院薬剤師連盟の活動に格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は本田顕子参議院議員が、厳しい選挙戦を経て、見事に再選を果たされました。薬剤師の専門性と使命感を国政の場で力強く発揮されている先生の活躍は、私たち薬剤師にとって大きな励みであり、誇りでもあります。改めて心からの敬意と祝意を表します。

本年、日本病院薬剤師連盟は、薬剤師の職能をさらに社会に広く示し、国民の健康と医療の質向上に寄与すべく、より一層活発な活動を展開してまいります。薬剤師一人ひとりの力を結集し、連盟としての存在感を高めていくことが、今後の医療を支える大きな礎になると確信しております。

新しい年が、会員の皆様にとって実り豊かな一年となりますよう祈念し、併せて薬業界全体の交流がさらに深まることを願っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶

日本女性薬剤師連盟会長 渡邊 美知子



謹んで新年をお祝いたします。皆様におかれましてはお健やかな良き年を迎えられたこと心よりお慶び申し上げます。旧年中は日本女性薬剤師連盟へのご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度より日本女性薬剤師連盟会長としての要職に就き様々なところでご挨拶をさせていただきました。共に前会長の熱い思いを引き継ぎ、2期目当選を目指す薬剤師議員本田あきこさんの支援をさせていただきました。

5月に発行した日本女性薬剤師連盟版広報紙POWERは会員の皆様、後援会の皆様など多くの皆様に配布することができました。また、6月の近藤芳子先生お別れ会には薬業界のみならず近藤先生とご縁のあった方々が140名近くお集まりいただきましたこと心より厚く御礼申し上げます。本当に和やかな

良いお別れ会でした。そして7月の暑い暑い参議院選挙戦。厳しい逆風の中、3年前より2万5千票のアップで本田あきこさんは2期目の当選を果たしました。代表で花束を渡したときの喜びは忘れられません。薬剤師議員の二人体制の維持が叶いました。

日本女性薬剤師連盟は薬業界と薬剤師の職能向上を期待し女性の持つ感性を生かすといった女性ならではの視点を大切に、本田あきこ参議院議員、神谷まさゆき参議院議員の二人体制を維持できるように全面的にバックアップしてまいります。日本女性薬剤師連盟は活動理念に添って今後も活動してまいります。皆様のご支援、ご指導よろしくお願いたします。

本年が皆様にとって輝かしい年になりますよう心より祈念申し上げます。

今年も元気で頑張りましょう。

風力計



日本薬剤師連盟
副会長 萩野 構一

細やかな「ちゃんじ」。

本田議員の選挙もあり、度々北海道に伺いました。初めて道東まで足を延ばす機会があり、まず驚いたことは「車の移動中はエゾシカに気を付けて」でした。また、地元では「朝出かけるときに玄関開けたらシカがいた」と聞かされ、車に体当たりされたら大変だと不安が増幅されます。幸いエゾシカは大丈夫でしたが北海道にはヒグマがいます。出会ったらシカよりエライことだと心配より恐怖です。季節は夏だったのでヒグマに遭遇することはありませんでしたが、秋冬にかけては特に北海道、青森、秋田、岩手各県ではご心配だったと思います。

そんな時に札幌のとあるジンギスカンの店に入り、「本場のジンギスカンはやはり美味しい」などと言いながら食していました。肉の追加をしたところ、店主が現れて「お客さん、珍しい肉をお出ししましたか?」と言ってきました。なんの肉だと言くと「ヒグマとエゾシカ」だとのこと。

過去の記憶に、ツキノワグマの熊鍋を食したことがあり、あまりの獣臭さに閉口して以来、クマは食べないことにしていました。しかし、仲間が珍しがって注文するのです。「僕は食べないよ」と言ったものの出てきた肉を見ると良い色のクマとシカの肉、恐る恐る食してみると「メッチャ美味いじゃん!」貴重な体験もさせていただきました。

別の機会に再度同じ店を訪れて、その時にはもうジンギスカンではなくクマとシカを食べに行こうでした。

第58回日本薬剤師会学術大会 日本薬剤師連盟ブース出展



令和7年10月12(日)・10月13(月・祝)、第58回日本薬剤師会学術大会が、国立京都国際会館にて開催され、日本薬剤師連盟はブースを出展し、チラシの配布やアンケートを実施した。同年7月の参議院議員選挙にて2期目の当選を果たした本田あきこ参議院議員、次期参議院議員選挙における組織内統一候補に決定した神谷まさゆき参議院議員は2日間にわたりブースに立ち、訪れた約1,500名の参加者と意見交換などを行った。

令和7年度

薬剤師フォーラム

～自ら築く「輝く未来の薬業界」～

令和7年10月19日(日)、AP日本橋で各都道府県から若手および女性薬剤師が参集し、「自ら築く『輝く未来の薬業界』」をテーマに「令和7年度薬剤師フォーラム」が開催された。千葉総務の司会のもと、岩月会長の開会挨拶に続き、本田あきこ参議院議員がビデオメッセージで選挙支援への感謝を述べ、続いて、神谷まさゆき参議院議員が「3年間の成果と今後の活動」と題して講演した。原口副会長からはSNS発信を通じた情報共有の広がりを紹介し、大澤副会長は「日本薬剤師連盟の現状と必要性」をテーマに薬剤師の現場の声を政策へ反映させるための具体的な取り組みについて講演した。次に、大原副幹事長のオリエンテーションの後、「薬剤師連盟や薬剤師議員の必要性の伝え方」についてスモールグループディスカッション(SGD)を行い、「政治を日常の延長に」「少人数懇談会」「若手・学生への啓発」などが提案された。

最後に、出張先から駆け付けた本田議員が挨拶され、川田幹事長の総括、丹羽副会長の閉会挨拶で、各地での実践を誓い閉会した。



SGD グループ

グループA



グループB



グループC



グループD



グループE



グループF



グループG



グループH



グループI



グループJ



グループK



グループL



新年挨拶

新年のご挨拶

衆議院議員・薬剤師

逢坂 誠二



新春を迎え、薬剤師の皆様と共に心よりご挨拶を申し上げます。医療の最前線で、多岐にわたる役割を担っていただい

ており、その献身に深い敬意と感謝を申し上げます。

昨年7月の参院選挙では、党派は異なりますが、本田顕子さんが2期目の当選を果たされました。これは現場で奮闘する皆さまのお支えによるものであり、心より敬意を表します。

毎年の薬価引き下げが続く中、必要な薬を確実に患者へ届けるために、中間年改定を中止する必要があります。加えて、医薬品の安定供給をめぐる課題は依然として深刻です。いわゆるドラッグロスの問題も看過できません。

これらの課題に向き合うためには、現場を理解する議員の役割が重要です。現在、薬剤師資格を有する国会議員は3名にとどまり、医療提供体制が複雑化する今、その視点を政策に反映する力を強める必要があります。1人でも多くの薬剤師議員を増やし、現場の声を国政に確実に届けることが、制度改善の推進力になると確信しております。

本年が薬剤師の皆さまにとり、さらなる飛躍の1年となるよう、私も薬剤師議員のひとりとして皆さまと力を合わせ、日本の医療を支える政策づくりに全力で取り組んでまいります。

年頭所感

参議院議員・薬剤師

本田 顕子



謹賀新年
日本薬剤師連盟及び都道府県薬剤師連盟の皆様には、日頃よりご指導賜りますとともに、昨夏におきまして

も先生方からの多くのお力添えにより、二期目の当選を果たすことができました。薬局訪問、名簿収集、集会開催などに加え、SNSによる心強い発信などにより人と人との輪をつないでいただき、ありがとうございました。

本年は午年。駆け抜けるほどの勢いと力強さをもって、確実に歩を進める年になりたいと思います。中国の思想家荀子の「着眼大局、着手小局」という言葉を恩師から以前教わりました。物事の全体像を俯瞰的に捉えて本質を見抜き、着眼大局、同時に、目の前にある具体的な課題一つひとつから着実に実行していく(着手小局)という解釈の言葉です。

新たな連立の枠組みの下での国会運営は厳しい状況に変わりありませんが、初の女性総理、高市早苗総理の下で、薬剤師や薬業界を取り巻く現下の諸課題の大局を見失うことなく、補正予算の円滑な執行、薬価・報酬改定や新年度予算等々による適切な評価と支援策を小局として、課題の一つひとつを丁寧にかつ力強く解決に導き、国民のいのちと暮らしを守ってまいります。

本年が実り多き1年となりますことをお祈り申し上げます。

新年の抱負

参議院議員・薬剤師

神谷 政幸



新年明けましておめでとうございます。日本薬剤師連盟の先生方におかれましては、お健やかに輝かしい新年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より温かいご支援を賜っておりまして、この場をお借りいたしまして、深く御礼を申し上げます。

昨年の通常国会の厚生労働委員会では2度質問に立ちました。委員会では医療用医薬品等の安定供給体制、国民への医薬品の適正な提供のための薬局機能の強化、医薬品等の品質及び安全性の確保、より活発な創薬が行われる環境の整備等について薬機法の改正審議が行われ、2度の機会ではほぼ全ての項目について質問できたことは、薬剤師議員として感慨深いものでありました。

この度、昨年10月22日高市内閣において厚生労働大臣政務官(労働・福祉・年金担当)を拝命いたしました。厚生労働行政の一翼を担い、上野賢一郎厚生労働大臣をお支えすると共に、大臣政務官としての職務にも努めてまいります。

結びに、日本薬剤師連盟の益々のご発展と先生方にとって本年が素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。



会長及び監事選挙並びに

候補者届出の受付に関する公示

日本薬剤師連盟会長 岩月 進

本連盟の令和7年度定時評議員会を令和8年3月30日(月)に開催いたします。当日は、本連盟の「会則」、「会長及び監事選挙規則」及び「同規則施行細則」により、令和8年4月1日から令和10年3月31日までを任期とする次期会長1人、監事3人の選挙を行います。自ら候補者になる方とする会員、候補者を推薦しようとする会員は、下記により届け出てください。

記

(1) 候補者の資格は令和8年1月29日(木)までに都道府県薬剤師連盟に入会手続きを完了している会員に限ります。

(2) 届出の受付期間は、令和8年2月27日(金)から3月13日(金)までの午前9時から午後5時までとし、本連盟事務所で受付けます。但し土曜日、日曜日と祝日を除きます。

(3) 届出の締切日時は令和8年3月13日(金)午後5時です。締切日時後の届出は受付られません。郵送による場合は、必ず書留をご利用下さい。締切日時までに到着したものを有効とします。

(4) 立候補届出書(又は候補者推薦届出書と承諾書)をはじめ、必ず添付しなければならない書類の様式は全て規定されております。届出関係書類一式あるいは本連盟規約等諸規定は、ご請求下されば郵送いたします。

お問合せは本連盟事務局

03-3225-3100

くお願いします。

編集後記

変革の時代に、薬剤師の声を

近年、薬局を取り巻く環境は大きな転換点を迎えています。これまでに数十年にわたり市場拡大とともに調剤特化型薬局は成長を続けてきましたが、分業の伸びも頭打ちとなり、従来のビジネスモデルでは持続性が揺らぎつつあります。今後は医薬品を提供する場としてだけでなく、患者一人ひとりと向き合う「対人業務」の価値を高め、地域の生活や健康課題につながるサービスをどのように築くかが問われています。

各薬局の状況は千差万別であり、画一的な解はありません。だからこそ、地域との共創を軸に、新たな役割や活躍の場を自らつくり出すことが可能であり、まだまだ広い可能性が私たちの前に広がっています。地域に寄り添い、専門職として人々の未来に伴走する薬剤師の姿は、これらの社会に欠かせない存在です。

その実現には制度・政策面での後押しが不可欠であり、まさに連盟活動の重要性が増しています。現場の声を政策につなぐ役割を一層強め、明るい未来を皆さまとともに切り拓いてまいりたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(T・H)



広報委員

原口 亨、丹羽 松弘
浜田 嘉則、橋本 昌子
和泉啓司郎、熊倉 明子
小屋敷淳子、山原 大輝